

☆出ました!! **令和** 商品。



♪新たな時代を先取り!! だよ。

お土産の『ショップ風良里』に、上記画像の商品が登場。あやかり!?!とも思いつつ、慶事なのでまあいいよね、と納得。♪新時代も道の駅南国風良里をよろしくお願いいたします。

猫のしっぽ 基準。先日用事で京都に行った折、とある酒屋を覗いてみると、。ビンテージワインのかなりのストックがあり、買えないが後学のためにと見ていると、1本のワインの値札に刮目。¥2,300,000。桁数を間違えたかと数え直してみたが、やっぱり7桁『にひゃくさんじゅう万円』。銘柄は、かの『ロマネ・コンティ』。震災前の神戸で見たロマネ - は何十年物で 25 万(これでも充分とんでもない値段だが)で、現在はこんなに高価なのかと帰宅してネットで調べると、これでもロマネとしては十分にリーズナブルな方で、300~400 万円台のがざらに出てました。どこをどうすれば 1本のワインにこんな値段がつくか我々凡人は理解に苦しむが、こんな世界もあるんだ、。宿の窓からは眼下に京都駅近くの線路が見え、16 両編成の新幹線や複線×5 系統位の線路を電車(汽車じゃないヨ)が一杯の人や貨物を載せひっきりなしに行き交う様を見下ろすと、高知とは違う基準(もと)があると今更ながら感じました。時折はこんな体験もしないといけませんネ。風猫子